

ドメスティック・バイオレンス

こちらで支援が受けられます

ドメスティック・バイオレンスとは？

DV加害者の方の支援

子ども

性暴力

居住権

ストーカー行為

強制結婚・女子割礼

こちらで支援が受けられます

ドメスティックバイオレンス [Häusliche Gewalt] (Häusliche Gewalt) は家族やパートナー間の暴力を意味し、助けを求めることが大切です。さまざまな機関が情報提供やアドバイス、支援を行っています。通常、秘密は厳守され、多くの場合無料で、必要に応じて通訳も行われます。以下で支援が受けられます。

緊急時

緊急時の支援については、こちらの詳細情報をご覧ください：

- 警察 112 / 救急 144
- 子ども連れや子どものいない女性の保護、相談、宿泊所：両バーゼル準州フラウエンハウス（24時間年中無休） 061 681 66 33, www.frauenhaus-basel.ch (DE)
- 子ども連れや子どものいない女性の保護、相談、宿泊所：女性と子どものための暮らし（24時間年中無休） 061 302 85 15, <https://wohnen-frauen-kinder.heilsarmee.ch> (DE)
- 女性のための医療サポート：大学病院附属婦人科クリニック救急科（24時間年中無休） 061 328 75 00, www.unispital-basel.ch/frauenklinik (DE)
- 乳幼児と児童・青少年のための医療サポート：両バーゼル準州大学小児病院救急科（24時間年中無休） 061 704 12 12, www.ukbb.ch (DE)
- 医療サポート：バーゼル大学病院救急センター（24時間年中無休） 061 265 25 25, www.unispital-basel.ch/notfallzentrum (DE)
- 危機介入、精神的な問題のサポート：バーゼル大学精神科クリニック救急科（24時間年中無休） 061 325 51 00, www.upk.ch (DE)

女性・子ども相談窓口

秘密厳守で無料。通訳を付けることもできます。

- 老若男女のための相談、随同行、経済支援：両バーゼル準州オプファーヒルフェ、061 205 09 10, www.opferhilfe-beiderbasel.ch (DE)
- 危機介入と相談：州警察社会奉仕課（州警察DV専門窓口）、061 267 70 38
- 飲酒と依存症に関わる問題相談：公衆衛生局依存症課 061 267 89 00, www.sucht.bs.ch (DE)
- 多言語による依存症に関わる問題相談：依存症の多文化相談窓口MUSUB 061 273 83 05, 061 273 83 05, www.mituns.ch (DE)
- 匿名相談（電話、チャット E、Eメール）：ダーゲボーテネ・ハント（24時間年中無休）、143, www.143.ch (DE)
- 父母、家族、信頼する身近な人物のためのサポートと相談：子育て緊急ダイヤル（24時間年中無休）、0848 35 45 55（固定電話料金）、www.elternnotruf.ch (DE)
- アドバイスを求める男性のための相談：バーゼル地域Männerbüro 061 691 02 02, 061 691 02 02, www.mbrb.ch (DE) 相談費用は来談者の資金力によって変わります。

子ども・若者

困難な家庭環境にある子どもや若者は、昼夜を問わずプロ ユーヴェントゥーテ (Pro Juventute) で相談できます。電話、チャット、テキストメッセージ E、Eメールで対応。

- 児童・青少年のための匿名相談
（電話、チャット SMS E、SMS E、Eメール）：プロ ユーヴェントゥーテ Pro Juventute Pro Juventute 秘密厳守の無料相談、24時間年中無休、電話：147, www.147.ch (DE)

医療支援と鑑識

身体的および性的な暴力を受けた場合は、できるだけ早く医師の診察を受けるようにしてください。診察は秘密厳守です。警察には本人が求める場合にのみ通報します。バーゼル大学病院は身体的および性的な暴力を受けた後のけがや証拠採取に特化しています。ほかの医師の治療を受ける場合は、その医師に暴力の形跡を詳細に記録するよう要請してください。

- 女性：大学病院婦人科クリニック救急科（24時間年中無休） 061 328 75 00, www.unispital-basel.ch/frauenklinik (DE), Spitalstrasse 21
- 男性：バーゼル大学病院救急センター（24時間年中無休） 061 265 25 25, www.unispital-basel.ch/notfallzentrum (DE)
- かかりつけの医者や最寄りの病院の救急科
- 両バーゼル準州オプファーヒルフェ 061 205 09 10, www.opferhilfe-beiderbasel.ch (DE)

暴力の加害者相談窓口

秘密厳守。通訳を付けることもできます。

- DVが行われたときの相談□DV: DV対立相談、 061 267 00 26, www.bdm.bs.ch (DE)
- アドバイスを求める男性のための相談: バーゼル地域Männerbüro□061 691 02 02, 、061 691 02 02, www.mbrb.ch (DE) 相談費用は来談者の資金力によって変わります。

その他の窓口

ウェブサイト「ストップ暴力□□Halt Gewalt□」(Halt Gewalt□)には、他の支援機関のリストが掲載されています。移住や依存症に関する相談、法律相談、困難な家庭状況に関する相談などを行っています。

詳細 (リンク、連絡先、冊子、リーフレット)

www.hallo-baselstadt.ch/ja/domestic-violence/help-is-available-here

ドメスティック・バイオレンスとは？

ドメスティック・バイオレンス [Häusliche Gewalt] (Häusliche Gewalt) とは、家族、パートナーとの間の暴力を指します。これは肉体的にも精神的にも傷つけます [DV。DVにはさまざまな形態があります。スイスではDVは禁じられています。

ドメスティック・バイオレンスとは？

ドメスティック・バイオレンス [DV] (DV) とは、家族、パートナーとの間の暴力を指します：これは、配偶者、交際相手、元交際相手との間の暴力を指します。同居しているかどうかは関係ありません。また、親子間や兄弟姉妹間の暴力もDVです。

DVは、精神疾患や心身症につながる可能性があります [DV。DVは特に子どもの健康的・社会的な発達を危険にさらします [DV。DVを間接的に経験した子どもも被害者です。

DV被害者とは？

老若男女、スイスのパスポートを持つ人も持たない人も、裕福な家庭も貧しい家庭も、すべての人がDVの被害者となる可能性があります。スイスでは、多くの人が家族や(元)パートナーからの暴力に悩まされています [DV。DVにお悩みの方は助けを求めることが大切です。

さまざまな形態

DVにはさまざまな形態があります：身体的、心理的、性的、経済的な暴力。さまざまな形態の暴力が同時に起こることがよくあります。

例：絶えず侮辱する、接触を禁じる、監禁する、突き飛ばしたり蹴ったりする、支配する、性行為を強要する、金銭を取り上げる、言語を学ぶことを禁じる、子どもを無視する。また、脅迫もDVです。

DVは禁止されています

DVは禁止され、刑法で裁かれます。警察がDVについて聞き知った場合、捜査する必要があります。たとえ、暴力を受けた本人がそれを望んでいない場合でも。

オブファーヒルフェ [Opferhilfe] (Opferhilfe) を介した相談

オブファーヒルフェ [Opferhilfe] (Opferhilfe) は、家族や(元)パートナーから暴力を受けた人にアドバイスをしたり情報を提供したりします。この支援は無料です。専門家と一緒に、次のステップを計画できます。

スタッフには守秘義務があります。つまり、この相談内容を誰にも知らせてはいけないということです。たとえ、警察であっても。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/domestic-violence/what-is-domestic-violence

DV加害者の方の支援

身体的・精神的に誰かを傷つけてしまう人は、責任をもって助けを求めましょう。カウンセリングで、自分の行動を変える方法を学ぶことができます。

支援が受けられる場所は？

反DV学習プログラムでは、暴力を使わずに争いを解決する姿勢を学びます。このプログラムは成人向けです。通訳を付けることもできます。電話061 267 44 90またはEメールhausliche-gewalt@jsd.bs.ch宛てに申し込んでください。参加は無料です。

他のサービス：

- 対立相談DV ☐061 267 00 26, 、061 267 00 26, www.bdm.bs.ch (DE)
- 両バーゼル準州Männerbüro ☐061 691 02 02, 、061 691 02 02, www.mbrb.ch (DE)
費用は来談者の資金力によって変わります。

すぐに誰かに相談したい場合は、ダーゲボーテネ・ハント ☐Dargebotene Hand ☐ (Dargebotene Hand ☐) に連絡 (電話、テキストメッセージ、チャット ☐E、Eメール) できます。常時、担当者が対応します。夜間でも。匿名での連絡もできます。

- ダーゲボーテネ・ハント (24時間年中無休)、143, www.143.ch (DE)

詳細 (リンク、連絡先、冊子、リーフレット)

www.hallo-baselstadt.ch/ja/domestic-violence/help-for-violent-people

子ども

家庭で暴力を受けている子どもは、助けを必要としています。

DVは子どもにも影響を与えます

子どもがDVを経験すると、成長に悪影響を及ぼします。また、暴力が直接子どもに向けられていない場合も同様です。

声を上げることなく苦しんでいる子どもや、さまざまな症状を示す子どもがいます。例：学校での問題やおねしょ、頭痛、摂食・睡眠障害、他の子どもとの交友関係の問題、攻撃性など。

こちらで子どもの支援が受けられます

オブファーhilfエ[Opferhilfe] (Opferhilfe) は、DVを受けた児童や青少年の相談を行っています。オブファーhilfエ[Opferhilfe] (Opferhilfe) に関する詳細情報は、こちらをご覧ください。

育成局の児童・青少年サービスKJD[Kinder- und Jugenddienst KJD] (Kinder- und Jugenddienst KJD) は、児童や青少年の健全な成長を支援しています。児童や青少年は、家族の対立などについて、ここで支援を得られます。

子どもにできることは？

DVを受けている子どもは、家族以外の人に相談することが大切です。例：教師、学校のソーシャルワーカー、両親の友人、隣人

プロ ユーヴェントウーテ(Pro Juventute)では、昼夜を問わず電話で相談できます。専門家は相談内容について誰にも話しません。彼らは話に耳を傾け、解決策を探る手助けをします。

プロ ユーヴェントウーテ(Pro Juventute)への通話は無料です。匿名で相談できます。また、プロ ユーヴェントウーテ(Pro Juventute)は、SMSやチャット[E、Eメール]でも連絡できます。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/domestic-violence/children

性暴力

性的暴行は、（元）パートナーや家族間でも起こります。性暴力はDVの一種で、警察に通報できます。警察に届け出たくない場合でも：暴行を受けた後、できるだけ早く医師の診察を受けることが重要です。

医療支援

バーゼル大学病院婦人科クリニックや救急センターでは、秘密厳守で治療にあたります。

- 医師は誰にも話しません。
- 暴力は記録されます。痕跡は1年間保管されます。
- 書類は後で警察に提出できます。これは重要な証拠です。
- 医師はオプファーヒルフェ Opferhilfe (Opferhilfe) とのネットワークを構築できます。

暴力を受けた後から診察までの間

- シャワーを浴びたり、体や手を洗ったりしないでください。
- 可能であれば、トイレに行かないでください。
- 衣服は洗わず、診察に持参してください。

法律相談・こころの相談

オプファーヒルフェ Opferhilfe (Opferhilfe) 相談窓口では法律およびこころの支援を受けることができます。多くの質問に対応しています。こちらで支援が受けられます。

警察への届出

警察は、性暴力の届出について経験があります。質問は同性の担当者が行います。届出は警察署に提出できます。信頼できる人またはオプファーヒルフェ Opferhilfe (Opferhilfe) の専門家を同行できます。

受付時間外は、117番か112番で警察に連絡できます。

州警察の社会奉仕課 Sozialdienst (Sozialdienst) はDVと性的暴力に特化しています。

- 州警察社会奉仕課：061 267 70 38（業務時間内）

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/domestic-violence/sexual-violence

居住権

個人的にアドバイスを受けることが重要です。オプファーヒルフェ [\[Opferhilfe\]](#)（Opferhilfe）での相談が、居住権の喪失につながることは決してありません。相談は秘密厳守です。オプファーヒルフェ [\[Opferhilfe\]](#)（Opferhilfe）は相談内容を誰にも話しません。

DVによる別居の場合の居住権

結婚してスイスに滞在している方がDVを受けた場合、状況に応じて、別居後もスイスに留まることができます。状況はそれぞれ異なります。そのため、アドバイスを受けることが重要です。

オプファーヒルフェ [\[Opferhilfe\]](#)（Opferhilfe）が支援できます：専門家が現在の法的状況を説明し、相談者の次のステップを支援します。相談は無料で、秘密厳守です。通訳を付けることもできます。

暴力を記録します

暴力の証拠があることが重要です。例：けがの写真 [\[WhatsApp\]](#)、WhatsAppやFacebookなどでの脅迫や侮辱のスクリーンショット。なお、証拠品は安全な場所に保管してください。例：友人宅や職場。

また、その暴力を知っている人が周囲にいと良いです。例：友人、職場、近所、学校の人。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/domestic-violence/right-of-residence

ストーカー行為

ストーカー行為は暴力の一種で、大きなストレスを与えます。これについて話し、アドバイスを受けることが重要です。

ストーカー行為とは？

ストーカー行為とは、相手に対する過度の監視、接触、尾行、嫌がらせを指します。これは、ストーカーされる人の意思に反したものです。加害者は、多くの場合、周囲の人（元パートナー）ですが、見知らぬ人であることもあります。

例：大量のSMSやEメール、その他のメッセージを送信する、職場や自宅で待ち伏せする、迷惑電話、迷惑なプレゼント、相手の周囲を詮索する。

ストーカー行為は、被害者の心身の健康に影響を与える可能性があります。

暴力を記録します

ストーカー行為を証明できることが重要です。例：個々のストーカー行為（プレゼント、メモ、電話など）を日記に残す、周囲（近隣住民、友人、雇用主）に知らせる、メッセージ
□WhatsApp□Facebook（WhatsApp□Facebook、Facebookなど）のスクリーンショット/写真を撮る。

支援を探します

オプファーヒルフェ□Opferhilfe□（Opferhilfe□）が支援できます。専門家が現在の法的状況を説明し、相談者の次のステップを支援できます。

州警察社会奉仕課□Sozialdienst□（Sozialdienst□）はストーカー行為に特化しています。被害者は社会奉仕課に相談することもできます。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/domestic-violence/stalking

強制結婚・女子割礼

スイスでは、強制結婚[Zwangsheirat]（Zwangsheirat）および女子割礼[Mädchenbeschneidung]（Mädchenbeschneidung）は禁止されています。専門機関のほか、オブファーヒルフェ[Opferhilfe]（Opferhilfe）も支援を行っています。

強制結婚とは？

家族からの圧力で、自分の意思に反して結婚することを強制結婚と言います。このような婚姻関係は無効とされる場合があります。また、結婚するか別れるかは自由です。当事者が、本人の意思に反して結婚生活を続けることを強制結婚と言います。

強制の例：脅迫、恐喝、心理的圧力または身体的暴力。

スイスでは、強制結婚や強制的な婚姻関係は禁止されています。

ヘルプ

国の機関であるzwangsheirat.chが、当事者や専門家に無料で秘密厳守の相談を行っています：
ヘルプライン 0800 800 007 / info@zwangsheirat.ch

女子割礼とは？

女性の割礼では、女性器を切除します。これには、さまざまな形態と慣行があります。割礼された少女や女性の多くは、割礼により健康上および精神上的苦痛を感じています。

女子割礼は禁止されています。また、スイス国外で割礼を行った場合、親は訴追の対象となる可能性があります。

ヘルプ

女性割礼に反対するネットワークは、情報を提供し、キーパーソンとのネットワークを構築しています。カリタス シュヴァイツ[Caritas Schweiz]（Caritas Schweiz）は、当事者家族に無料で秘密厳守の相談を行っています[042 419 23 55 /

beratung@maedchenbeschneidung.ch: 042 419 23 55 /

beratung@maedchenbeschneidung.ch

また、オブファーヒルフェ[Opferhilfe]（Opferhilfe）の支援も得られます。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/domestic-violence/forced-marriage-and-female-cutting--circumcision